

【指導員資格をお持ちのみなさんへ】

重要

基礎水泳指導員及び日本スポーツ協公認水泳コーチ1、コーチ2の資格更新の要件を充たすためには、県水泳連盟普及委員会が主催する更新研修会を受講する必要があります。

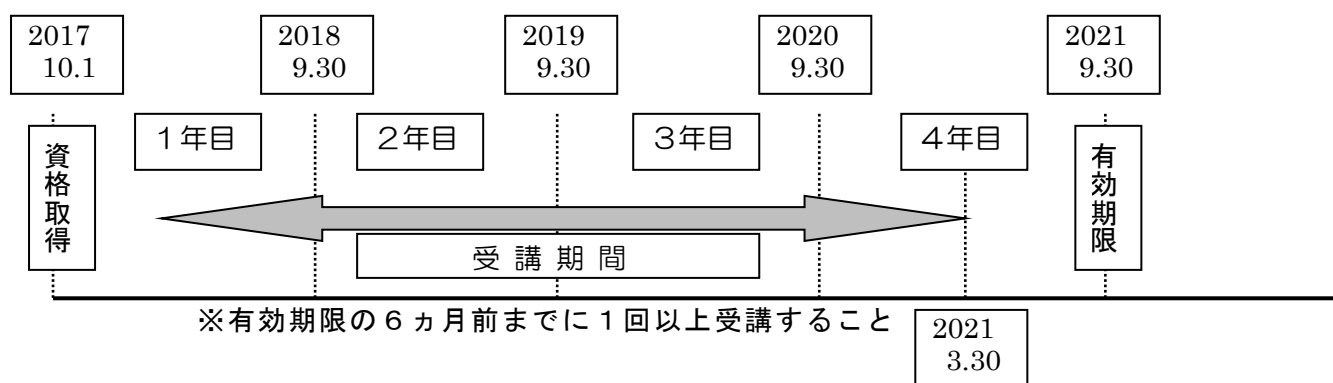
資格更新の要件

登録の有効期間内（4年間）に1回以上水泳連盟の主催する研修会を受講すること。

資格更新の要件を満たさない場合、資格は失効します。1度失効した資格を復活するためには、再登録申請をする必要があります。これには申請手続きや再登録申請料が別途必要となり時間もかかります。ぜひ、有効期限が切れる前に受講するようにしてください。

また、この更新研修は年に1回県水泳連盟普及委員会が行っています。都合で参加できない場合などを考え、期間内のなるべく早い時期に受講しておくことをお勧めします（ただし今回は特例措置のため、受講（レポート提出）をできる人が限定されていますのでご注意ください！）。

<資格の有効期限と受講時期の関係>資格取得が2017.10.1で有効期限が2021.9.30の場合の例



令和2年度

基礎水泳指導員・水泳コーチ1、2更新研修会の代替措置としてのレポート提出実施要項

【名称が令和元年度より変わりました。コーチ1（旧指導員）、コーチ2（旧上級指導員）】

※令和元年度からマスター称号上級指導員も各都道府県の更新研修を受講することになりました

1 **ねらい** 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、集合しての研修会を開催することが困難な状況のため、更新要件を満たすための代替措置として、資格保有者の水泳指導全般に関するレポートを提出することにより、資格保有者の資質向上を図る。

2 レポートの内容

(1) 水泳の指導、または指導者に関すること

【内容】水泳指導教本（新・旧）にある指導者としての心構え等のことについて、自分の経験からの考察（学んだこと、考えたこと、感じたことなど）を述べる。

(2) 水泳の安全に関すること

【内容】実際に指導する際に、安全面で留意していることや上手くいった経験、危険を感じた経験などについて述べる。

※いずれのテーマでも、自分の体験なども踏まえて記述するなど、できるだけ具体的に自分の考えをまとめること。

※レポートの文字数は1,000字～1,500字とする（テーマ、氏名等は含まない）。

3 レポートの書き方

(1) 次のいずれかの方法で書く。

①市販の原稿用紙（400字詰め）に手書きで書く。

②ワープロやパソコンのワープロソフトを使って書く。用紙は自由。

（最終行の次の行に文字数を明記する。）

(2) いずれの場合も、冒頭にテーマ・氏名・資格名・資格番号・有効期限を明記すること。

4 提出対象者（要注意！）提出対象者が限定されています。

(1) コーチ1、コーチ2の資格保有者

・有効期限が2020.09.30の方、2021.03.31の方、2021.09.30の方、2022.3.31の方で、宛名シールに「未受講」と記載されている方。

(2) 基礎水泳指導員の資格保有者

・有効期限が2022.3.31までの方で、まだ更新研修を受講していない方
・有効期限内に受講したが、更新手続きをしなかったため有効期限が切れてしまった方

(3) 共通

・有効期限が1年以上切れている方で、復活申請を希望する方。
・有効期限が2022.9.30以降の方はレポート提出対象者とはしません。

（日水連から今回の措置対象者の有効期限が限定されているため）

【コーチ1、コーチ2の方へ】

※宛名シールに「更新可」「受講済」と記載されている方は、有効期限内に受講していますので、更新手続き案内が日本スポーツ協会から来ます。案内に従って更新手続きを行ってください。

※自分の資格の状態は、日本スポーツ協会の「指導者マイページ」から確認できます。

※基礎指導員の方は県水連からの案内に従って更新手続きをする必要があります。

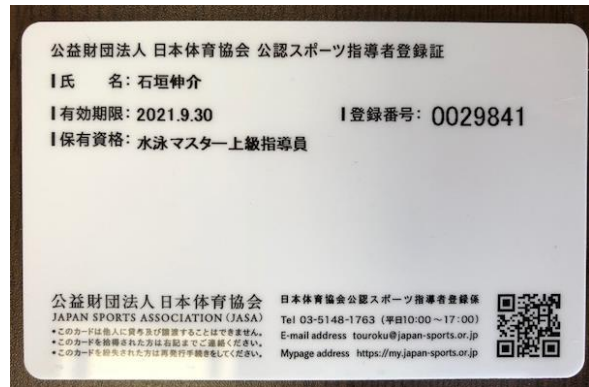
5 提出期限 令和2年11月13日（金）必着 ※厳守

6 提出先 〒990-0401 山形県東村山郡中山町大字長崎296-1

山形県水泳連盟普及委員長 石垣伸介 宛て

《参考》

水泳指導員資格証（基礎水泳指導員を除く）（左が表面、右が裏面）



※「日本体育協会」は2018年4月1日より「日本スポーツ協会」に名称が変わりました

【指導者マイページ】

こちらで確認してください

【新しい教本 三訂版】

内容がすべてリニューアルされました

